

学園南地区地域自治計画

(中期計画)

ふれあい ささえあう
元気な 町づくり



学園南地区 町づくり検討委員会

平成30年4月

《目 次》

1. はじめに	1 ページ
2. 自治計画の骨子	3 ページ
3. 地域活動の現状と課題・活動計画	4 ページ
(1) 自治会分野	5 ページ
(2) 防災・防犯分野	6 ページ
(3) 福祉分野	7 ページ
4. むすび	9 ページ
5. 資料	
(1) 学園前地区の沿革と学園南地区地域活動の歴史	10 ページ
(2) 人口動態	11 ページ
(3) 地区の主要施設	11 ページ
(4) 地域の活動団体	12 ページ
(5) 「地域自治協議会」組成に対する方針	13 ページ
(6) 学園南地区自治協議会（仮称）全体組織図（イメージ）	14 ページ
(7) 学園南地区 町づくり検討委員会 名簿	15 ページ

はじめに

1. 「学園南地区」の概要

学園南地区は、奈良市の西部に位置し、昭和26年以降、近鉄学園前駅南側一帯がニュータウンとして開発された地域です。地域全体がほぼ住居専用地区で、区内には帝塚山学園や大和文華館を始めとする教育・文化施設がある緑に恵まれた閑静な地域です。開発から60数年を経過した現在、高齢者比率32%、戸建ての独居世帯増加等で、見守り・支援のニーズが高まっている地域でもあります。

2. 地域活動組織

昭和29年自治会活動が始動。昭和39年、全自治会で構成される連合団体の「自治連合会」が結成され広域地域活動が展開されてきました。以降、人口の増加・社会ニーズの多様化に対応して、諸先輩方のご努力並びに行政側の対応を支えに、福祉分野での地区社会福祉協議会や地区民生児童委員協議会、防災・防犯分野での地区防災・防犯協議会、教育分野での幼・小・中学校の各種協議会等が立ち上げられ今日まで並行して各分野での活動を行って参っております。地区全体の運営におきましては、平成24年以降、全地域団体の役員方で構成される合同会議が常設され、相互の情報交換・合議を行なうことによって地域全体の円滑な運営を目指しております。

私達の町は私たちの力を結集して守り・育てていこうとの思いで、役員さんを中心に住民の皆様方の協力を得て、各分野で活動を行っていただいていることはご承知の通りです。

3. 「地域自治協議会」設立の流れ

他方、奈良市におきましては平成21年に「奈良市市民参画及び協働によるまちづくり条例」を施行。行政と地域との連携・協働の促進による地域活動の維持・活性化を目指し、地域側の担い手として各連合会単位での「地域自治協議会」（仮称）の設立を勧奨。奈良市自治連合会においても平成25年頃から全49地域での設立運動をスタートさせ今日に至っております。

「地域自治協議会」は、地域の既存の全団体・住民で構成される法人（認可地縁法人）として地域自治活動を包括的に運営する組織、「地域を代表する」組織として位置づけられるものです。学園南地区におきましては、この動きを受けて、平成27年に「自治協議会移行検討委員会」を立ち上げ（平成29年から町づくり検討委員会に改称）以降3次に亘って本課題について検討を重ねております。

4. 「自治計画書」について

同委員会では、新たな組織づくりを検討するにあたり、当地区に於ける全分野の地域活動を横断的に見直し、「町の目指すべき姿」の確認、「活動の現状と課題活動計画」、それを踏まえての「地区自治計画」（中期計画）を立案することといたしました。活動項目を俯瞰いたしますと、既に多くの項目が多岐に亘って実施されていることが、同時に、多くの皆さんに支えられて活動が維持されていることが、改めて実感できます。なお施策の選択に当たっては担い手不足の状況でもありますので、重要施策の一層の定着・浸透努力を最優先に、新規施策を含めた一般施策は選択と集中、継続性・実行可能性の観点からの検討が欠かせないと判断されます。

皆様におかれましては本計画書をご一読いただきたく、合わせてご意見・ご批判を頂ければ幸甚であります。

「この町を、みんなの力で守り育てましょう」

今後一層のご協力よろしくお願い申し上げます

学園南地区 町づくり検討委員会

自治計画の骨子

1. 町の基本コンセプト

「ふれあい ささえあう 元気な 町づくり」

～ 私たちのこの町を どのように育み どのように創るのか ～

2. 目標

①安心・安全な町に

危機の高まっている震災対策、散発している犯罪対策をさらに推進し、より安全・安心な町づくりを目指す

②ふれあい ささえあえる町に

「高齢者見守り活動」・「ふれあい会合」等を一層充実させる

③緑豊かで 美しい町に

生活道路の改善・美化・エコ活動の推進等により、閑静な生活圏を維持する

④活力溢れる町に

女性が活躍できる町・青少年参画のできる町・イベント企画のできる町を目指し、活性化を行う



3. 基本課題

①人材

- 各分野の役員後継者の確保
- 自治会長1年交替制の是非

②活動拠点

- 集会室設置（H26年）で一步前進したが、狭隘につき中期的には集会所の確保は重点課題

③組織運営

- 事務局の設置と要員の確保（人材・財政の両面）
現状、事務局機能は、専ら各会長が負担している

④財源

- 自主財源としての新規事業に具体性が乏しい



4. 活動の現状と課題・活動計画

○「現状と課題・活動計画」の分野別内訳は、別表の通りです。

自治会部会	・・・5ページ
防災・防犯部会	・・・6ページ
福祉部会	・・・7ページ

○今回の見直しにより実行可能な新規施策は極力織り込みましたが、各分野とも総じて基本的項目は既に継続実施中です。

○むしろ共通の問題として

- ①各施策の浸透度が各自治会間でバラツキがあること
- ②参加者の固定化・高齢化・減少化が進行していること
- ③役員の後継者難と一部役員の兼務負担が常態化していること

等が挙げられます。いずれも深刻な課題であり、対策に苦慮するところです。

○選択と集中、優先項目の絞り込みが必要な段階かとも思われます。



地域活動の現状と課題・活動計画

実施状況 ○:実施中 △:要改善 ×:未実施
 項目別優先度 ◎:必須項目 ○:重要項目 空欄:一般項目
 計画期間 短期:平成30年度、中長期:平成31年度以降

分野No.1 自治会部会

No.	項目	実施状況 ○△×	優先度	計画		実施・計画内容	担当団体
				継続新規	短中長期		
1. 会議運営							
	①役員会	○	◎	継続	-	地区11自治会で構成された自治連合会の役員会・毎月1回開催	自治連合
	②合同会議	○	◎	継続	-	主要案件の骨子・運営方針等の検討を行う 主要団体全役員で構成。毎月1回開催 各種案件の報告・情報交換・方向づけを行う	3部会共催
	③自治会長会	△		継続	-	必要時開催。経常的には上記合同会議で代替	自治連合
	④総会	○	◎	継続	-	4月に定例総会を開催。必要時は臨時総会を開催。(事業報告・事業計画・決算報告・監査報告・予算計画・役員選任等主要事案を決議)	〃
2. 環境							
	①道路	○	◎	継続	短期	専門チームを立ち上げ総合的な管理体制の構築を目指す	自治連合
	②交通	○	◎	継続	-	幹線道路の北行き規制の弊害対策が課題(行政との継続交渉・都市計画進展状況注視)	交通指導委
					短期	通学路見守り活動の検討	〃
	③美化						
	清掃	△	○	継続	-	各自治会による一斉清掃日の設定・実行を定着させる	自治連合
	エコ活動	×		新規	中長期	講習会による啓発活動を行う	〃
3. 教育							
	①保育所	○		継続	短期	定例交流の維持。子ども園移行への側面支援	民生協
	②幼稚園	○		継続	短期	同上	〃
	③小学校						
	あやめ池	○		継続	-	定例交流の維持。学校事業への積極参加	〃
	帝塚山	×		新規	中長期	地域振興のパートナーとして協力関係を強化	自治連合
	④中学校	○		継続	-	定例交流の維持。学校事業への積極参加	〃
	⑤生涯学習	×		新規	長期	カリキュラムの検討・教育機関に関する情報提供	自治連合
	⑥各PTA	×		新規	短期	各PTAと連携を強める	〃
	⑦地域教育	△		継続	-	学校事業への積極参加	地域教育
	⑧少年指導	△		継続	-	同上	少年指導
	⑨人権教育	△		継続	-	人推協事業への参加。DV/虐待防止意識の喚起	人権協
4. 町づくり							
	①アートフェスタ	○	○	継続	-	地域連携推進事業としてH27年スタート。来訪者約2万人と盛況。企画力・運営力が今後の課題	自治連合
	②新イベント	×	○	新規	中期	絆つくりにつながる地域イベントを検討する。(バザー・夏祭り・運動会・バス旅行等)	自治連合
5. 新規事業							
		×	○	新規	中期	収益事業を含め、取組可能な事業を検討する	自治連合
6. 社会奉仕							
		○	○	継続	-	日赤・共同募金への協賛活動、災害発生時等の募金活動に積極的に取り組む。	自治連合 社協
7. 関係団体							
	①行政	○	◎	継続	-	連携・協働を維持する	自治連合
	②他地区団体	△		継続	-	特に近隣地区との連携・情報交換を進める	〃
	③事業者団体	×		新規	長期	連携・協働の機会を検討する	〃
	④NPO団体	×		新規	長期	同上	〃

分野No.2 防災・防犯部会

No.	項目	実施状況	優先度	計画		実施・計画内容	担当団体
		○△×		継続新規	短中長期		
1. 会議運営							
	①総会	○	◎	継続	—	4月に定時総会を開催、必要時に臨時総会	防災協
	②役員会	○	◎	継続	—	年間計画に基づき開催（年10回程度） 主要案件の骨子、運営方針等の検討	〃
	③合同定例会	○	◎	継続	—	主要団体全役員、委員参加による合同会議 分野別案件報告、情報共有、意見交換	3部会共催
2. 防災							
	①防災会議	○	◎	継続	—	年度当初に実施、地区防災体制の確認・防災知識の習得、 机上訓練の実施等	防災協
	②防災訓練	○	◎	継続	—	年1回地域住民による防災訓練実施	〃
	③奈良市 防災合同訓練参加	○	○	継続	—	自主防災防犯役員が参加、他地区での訓練防災情報の習得	〃
	④防災倉庫	○	◎	継続	—	機材購入計画書の作成 棚卸し（保有在庫確認）試運転	〃
	⑤防災士	△		新規	中長期	養成講座への参加（奈良県主催） リーダーの確保、組織強化 各自治会単位での防災会役員活動研修	〃
	⑥地区自治防災会	△	○	継続	中長期	防災関連行事への参加呼びかけ 各自治防災会役員の知識向上を図る	各防災会
3. 防犯							
	①防犯会議	○	◎	継続	—	年1回警察署講師による防犯講習の開催	防犯協
	②防犯啓蒙活動	○	◎	継続	—	年1回、警察署による防犯講習会外民生委員との連携による 一人住まいの高齢者への啓蒙対策	安全推進委員
	③防犯機材	○	◎	継続	—	防犯機材を購入、地域活動に運用	防犯協
	④パトロール	○	◎	継続	—	各自治会防災防犯会によるパトロールの実施	各防犯会
	⑤交通安全	○	◎	継続	—	重点地区でのパトロール実施	交通安全委員
	⑥通学路等子どもの 見守り活動	×	○	新規	短期	主たる通学路において、あやめ池小PTA・子ども会・少年 指導員との連携により実施する。	〃
	⑦青色パトロール	○	○	継続	—	あやめ池自治連合と共同活動を維持する 担当委員の拡大	子ども見守り隊
	⑧防災防犯相談日	○	○	継続	—	広報活動を維持し、地域に貢献する	安全推進委員
	⑨環境美化活動	△	○	継続	短期	地域住民の意識高揚	各防犯会
	⑩女性防犯クラブ	×	○	新規	中長期	ワンちゃんパトロール隊の立上げ	防犯協
	⑪防犯カメラの 設置	×	○	新規	中長期	地区内の防犯対策	〃
4. 関連団体との連携							防災協
	①行政	○	◎	継続	—	奈良市危機管理課等関係部局 奈良市自主防災防犯協議会（会長会議） 奈良県安全安心まちづくり推進課 富雄南中学校・あやめ池小学校・市立保育園 あやめ池幼稚園・西部公民館	
	②警察	○	◎	継続	—	奈良西警察署（生活安全課・交通課・学園前交番） 地域安全推進委員支部長会議	
	③消防	○	◎	継続	—	奈良市西消防署	
	④消防団	△	◎	継続	—	富雄消防団	
	⑤他地区団体	△	◎	継続	—	あやめ池地区・青和地区自治連合会 学園北1・2丁目自治会 帝塚山学園・奈良県防災士会	
5. その他							
	①防災マニュアル 作成委員会	×	◎	新規	短期	地区避難所開設マニュアルの作成 （あやめ池小学校・西部公民館） 【奈良市避難所運営作成マニュアル】	防災協
	②災害想定箇所の 点検	○		新規	短期	対象箇所の確認と定期点検の実施	〃

分野No. 3	福祉部会
---------	------

No.	項目	実施状況 ○△×	優先度	計画		実施・計画内容	担当団体
				継続新規	短中長期		
1. 会議運営							
	①総会	○	◎	継続	—	4月に定例総会開催	社協
	②役員会	○	◎	継続	—	主要案件の骨子・運営方針等を検討。毎月1回開催	社協
	③合同会議	○	◎	継続	—	主要団体全役員で構成。毎月1回開催 各種案件の報告・情報交換・方向づけを行う	3部会共催
	④部会役員会	○	◎	継続	—	各部会毎に随時開催	各部会
	⑤各種委員会	○	◎	継続	—	各委員会毎に随時開催	各委員会
2. 高齢者関連							
①見守り、支援							
	一人暮らし	○	◎	継続	—	対象者への定例訪問を実施（毎月1回）	民生協
	障害者	○	◎	継続	—	同上	〃
	外出支援	○		継続	—	菅原園入居者に対し定例実施	ふれあい部会
	老々世帯	×	○	新規	中期	実施に向けて検討する	社協
	②配食サービス	○	○	継続	—	対象者増加への対策検討要	民生協
	③福祉大会	○	◎	継続	—	運営企画を含め在り方の再検討要	社協
	④万年青年クラブ	△		継続	中期	全地域での立上げが課題	自治連合
3. 活性化関連							
社協各部会							
	①ふれあいネットワーク (研修会)	○	◎	継続	—	地域住民間の各種ふれあいの場造りを担うネットワーク部会。各エリアからの地区役員により運営 年間計画により毎月1回開催	ふれあい部会
②健康増進							
	ウォーキング	○		継続	—	毎月2回開催。	部会
	軽スポーツ	○		継続	—	グラウンドゴルフ主体で毎月4回開催	部会
	学南クラブ	○		継続	—	ゴルフ会、年2回開催。	有志
	健康体操	○		継続	—	毎週1回開催	ふれあい部会
③各種同好会							
	パソコン教室	○		継続	—	毎月1回開催。	部会
	カラオケ	○		継続	—	〃	ふれあい部会
	うたごえクラブ	○		継続	—	〃	〃
	麻雀	○		継続	—	〃	〃
	囲碁	○		継続	—	〃	〃
	生け花	○		継続	—	毎月2回開催。	〃
	テーブルコーディネート	○		継続	—	毎月1回開催。	〃
4. 子ども関連							
	①青少年健全育成	○	◎	継続	—	児童を対象に月1回広く体験学習を手造りメニューで実施。 子ども会との統合・後継者確保が課題	部会
	②子育て支援	○	◎	継続	—	親子（乳幼児）の交流の場として毎週1回開催 待機児童問題の動向要注視	部会
	③子ども会	○	◎	継続	—	H28年懸案の統合問題を解決。加入率アップが課題	子ども会
5. 財源							
	①助成金	△	○	(増額)	中期	現状は限定・抑制的。	社協
	②バザー等	×		新規	長期	検討対象	〃
	③募金	○	◎	継続	—	自主財源の要でもあり、一層の勧奨を強化	社協 自治連合

No.	項目	実施状況 ○△×	優先度	計画		実施・計画内容	担当団体
				継続新規	短中長期		
6. 広報							
	①新聞	○	◎	継続	—	編集体制の更なる強化	社協
	②掲示板	△		—	中期	全自治会への普及	各自治会
	③ホームページ	×		新規	中長期	検討対象	自治連合
	④回覧	○	◎	継続	—	有効策の検討	全団体
7. 関連団体							
	①市社協	○	◎	継続	—	連携・協働を維持する。	社協
	②市民生協	○	◎	継続	—	〃	民生協
	③地区包括支援 センター	○	◎	継続	—	〃	社協

むすび

今般、「学園南地区自治計画書」作成にあたりましては、多くの委員の皆様にご多用のなか積極的にご参加いただきました。誠に有難うございます。

平成27年5月に第1次自治協議会移行検討委員会として発足以降、3年間に亘り都合30数回の会合を重ねて参りました。

地域活動を総合的に検討する初めてのチーム活動で、貴重な機会となりました。

また、当地区では、既に多岐に亘る活動がボランティア精神を基に展開されているかが実感出来ました。

具体的な施策は、各分野の役員会や年次総会で決定されることとなりますが、その際、何卒本計画の趣旨をふまえた検討をお願いいたします。

最後に、地域活動にとって組織づくりや計画立案は欠かせないことではありますが、町の一層の活性化の何よりの「鍵」は、

多くの方々が

いかに関心をお持ちいただけるか
お声やご意見をお出しいただけるか
身近な催しにご参加いただけるか

に懸っていると申して過言ではございません。

今後とも一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

学園南地区 町づくり検討委員会

委員長 鳥居 正明



資料

(1) 学園前地区の沿革と学園南地区地域活動の歴史

年	学園前地区 全体	自治会分野	防災防犯分野	福祉分野
(元禄期)	(あやめ池神社)			
昭16	帝塚山学園開校			
昭17	近鉄学園前駅舎完成			
昭26～	学園南地区宅地開発			
昭29	あやめ池幼稚園開園	学園町自治会結成		
昭30～	南苑地区・学園北地区宅地開発			
昭31～	西郊住宅地区開発			
昭34	阪奈道路開通・百楽園地区開発			
昭35～	登美ヶ丘地区開発			
昭35	大和文華館開館 学園前ショッピングセンター 開店			
昭36	奈良信用金庫開店 南都銀行開店			
昭37～	鶴舞地区開発			
昭38～	学園大和町地区開発			
昭39	西郵便局開局	自治連合会結成		
昭40	あやめ池小学校開校			
昭42	西消防署開設	町名変更 (菅原町→学園南へ)		
昭43				南苑子ども会発足
昭44	奈良市西部出張所開設			
昭46	県民センター開設 旧公民館開設			
昭49		自治連合会再編		
昭51	市立学園南保育園開園			
昭52	都市銀行開店(三和)	自治連合会再々編		1丁目高砂会発足
昭57				地区社会福祉協議会設立
昭59	奈良西警察署開設 西図書館開館 中野美術館開館	「学園前産土の森保存会」設立		学園南子ども会発足
昭61		学園南地区自治連合会 (現行体制)発足		地区民生児童委員協議会 設立
平3	パラディー学園前開店			
平6	松柏美術館開館			ふれあいネットワーク発足 ウォーキングクラブ発足
平10	包括支援センター開設			ふれあい新聞発行 福祉大会開催開始
平11	近鉄学園前駅全面改築			軽スポーツクラブ発足 子育て支援クラブ発足
平13	西部公民館開館	(集会所確保活動始動)		青少年健全育成クラブ発足
平16	帝塚山大学学園前キャンパス 開校		防犯パトロール開始	
平18		(旧)集会所開設		パソコン教室開校
平19		(旧)集会所閉鎖	防災訓練開始 防災倉庫設置(小学校)	◆各種同好会発足◆ H18 生け花教室 H24 学南ゴルフクラブ H27 カラオケ・麻雀・囲碁 テーブルコーディネーター H28 歌声 H30 健康体操
平21			地区防災防犯協議会設立	
平23			地区防災会議開催 地区防犯講習会開催	
平24	市社協ふらっと開設			
平26	奥柳・登美ヶ丘道路大改修	集会所開設		
平27		町づくり検討委員会発足	防災倉庫設置(3丁目)	
平28		街育プロジェクト「現代 アート展」開始		子ども会統合

(2) 人口動態

(単位：人)

当地区	平成 19 年	平成 24 年	平成 29 年	5 年増減	10 年増減
人口	2,391	2,449	2,455	6	64
世帯数	1,023	1,062	1,089	27	66
(平均世帯人員)	(2.34)	(2.31)	(2.25)	(△0.06)	(△0.09)

65 歳以上人口	681	728	784	56	103
15 歳未満人口	228	286	279	△7	51

《構成比率》

(単位：%)

65 歳以上人口	28.5	29.7	31.9	2.2	3.4
15 歳未満人口	9.5	11.7	11.4	△0.3	1.9

奈良市全体	平成 29 年
65 歳以上人口	29.4
15 歳未満人口	11.8

(3) 地区の主要施設

①公共施設

奈良西警察署 学園前交番 西部出張所
西部公民館 学園前ホール 近鉄学園前駅

②教育・保育機関

あやめ池小学校 あやめ池幼稚園 学園南保育園
帝塚山学園 (幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学)
奈良キリスト教会附属幼稚園

③文化施設

大和文華館 中野美術館 ギャラリーGM-1

④医療機関

阿部クリニック 衛藤医院 小畷診療所
浜田クリニック 森田診療所

⑤福祉機関

ホームケア学園南(グループホーム)
パルムドール学園南 (有料老人ホーム)

⑥文化財

あやめ池神社

(4) 地域の活動団体

- ①学園南地区自治連合会
全11自治会
- ②学園南地区自主防災・防犯協議会
防災委員会・・・全10部会
防犯委員会・・・全9部会
- ③学園南地区社会福祉協議会
全8部会
- ④学園南地区民生・児童委員協議会
- ⑤地域安全推進委員
- ⑥交通指導委員
- ⑦スポーツ推進委員
- ⑧学園南地区子ども会
- ⑨万年青年クラブ（高砂会）
- ⑩あやめ池・学園南人権教育推進協議会
- ⑪富雄南中学校
地域教育推進協議会
少年指導協議会
- ⑫あやめ池小学校
地域教育推進協議会
- ⑬あやめ池幼稚園
地域教育推進協議会
- ⑭学園南保育園
- ⑮ボーイスカウト奈良18団

(5) 「地域自治協議会」組成に対する方針

当委員会は、同協議会の設立を目指す前提のもと、立ち上げ準備を進める方向でスタートしましたが、これまでの議論の過程で設立に対する消極意見も出されてきました。

【主な消極意見】

- 組織の重複化・複雑化懸念
(当地区では既に各分野にまたがる合同会議を実施中)
- 役員の兼務負担が増加する懸念
- 本制度導入に対する行政からの具体的な支援策が見えない
- 総じて、現場ニーズが乏しく、利益実感が薄い

しかしながら他方では、「法人格を有する地域全体の包括組織」を設立する利点を、特に長期的観点からも検討すべき、との推進意見がありました。

【主な推進意見】

- 全分野を包括した観点からの意思決定ができることへの期待
- 地域の代表組織としての位置づけが明確になる
行政とのカウンターパートナーとしての機能が発揮できる機会が増える
- 将来的には、収益事業等の受け皿としての機能が持てる
現在はあくまでも「任意団体」であり、法律行為には限界がある
- 人材補充に対する期待
特に、事務局人材の外部人材の補充
- 「自治活動組織」の持続性が強化される
人口減少・高齢化・役員担い手不足の現状、任意団体としての活動に比し対応力が強化される。
- 「設立の流れ」が今後本格化する
全国的に、また奈良市においても検討が本格化する見通し

結論として、当委員会としては当組織の設立を進めるべき、と判断、今後「設立準備室」の立ち上げを進言いたしたいと考えております。